

タキノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキノミー）

科目名 幼児教育コーディネータ概論

（ 2022年2月14日作成）

氏名 久世均

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. 幼児教育に関する社会的背景	(3)それぞれ地域の教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標を説明しなさい。	(1)幼稚園教員の資質向上についてその方策について説明しなさい。 (2)幼稚園教員に求められる専門性について、具体例を挙げて説明しなさい。				(4)幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方の課題について具体例を挙げて説明するとともに、その解決方法を示しなさい。
2. 幼児教育コーディネータ	(1)幼児教育コーディネータについて説明しなさい。	(2)幼児教育コーディネータの活動について具体的に説明しなさい。		3)幼児教育コーディネータと幼児教育アドバイザーの違いについて具体例を挙げて説明しなさい。		

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>3. ハイブリット型授業のデザイン</p>	<p>(1)遠隔教育の変遷について説明しなさい。</p>	<p>(2)ハイブリット型授業の3つのパターンについて、具体例を挙げて説明しなさい。 (5)遠隔教育の必要性について具体例を挙げて説明しなさい。</p>	<p>(6)遠隔協働学習を企画し、実際にやってみなさい。</p>		<p>(4)ハイブリット型授業の課題について具体例を挙げて説明しなさい。</p>	<p>(3)ハイブリット型授業を具体的に企画しなさい。</p>
<p>4. 「教えないで学べる学習」という新たな学び</p>	<p>(1)J・B・キャロル（Carroll）の学校学習の時間モデルについて説明しなさい。</p>	<p>(2)「教えないで学べる」学習環境について具体的に説明しなさい</p>				<p>(3)「教えないで学べる」研修を実現するための手立てを考えなさい。</p>
<p>5. キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力の構造化</p>	<p>(1)キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力を説明しなさい。</p>	<p>(2)キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力は、どのような活動によって向上できるかについて具体例を挙げて説明しなさい。</p>			<p>(3)キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力について、自己をメタ認知し、その部分が不足し、その不足を補う方法を説明しなさい。</p>	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>6. 幼児教育コーディネータ養成カリキュラム</p>	<p>(1)幼児教育コーディネータに求められる資質能力を説明しなさい。</p>	<p>(2)インストラクショナルデザイン指導力について具体例を挙げて説明しなさい。</p>			<p>(3)インストラクショナルデザインを活用した授業改善について、具体例を挙げて説明しなさい。</p>
<p>7. 幼児教育コーディネータの学習目標の分析</p>		<p>(2)テレビなどのCMは、専門家がなんとか視聴者をひきつけようとして創作した作品である。どんなCMが印象に残っているか。それは何故か。メディアの特性をどのように使っているか具体例を示して説明しなさい。</p>		<p>(1)あなたは、どのような場面でメディアの影響を強く受けていると思うか、また、どのような場面でメディアの影響をあまり受けていないと思うか説明しなさい。</p>	<p>(3)インターネットで、いくつかの教材を調べて、その教材の有効性を5段階で判定しなさい。そして、どのような要因でその判定結果になったかを説明しなさい。</p>
<p>8. 新たな学びと教育リソース</p>	<p>(1)反転授業とその効果と可能性について説明しなさい。</p>	<p>(2)反転授業の学習展開について具体的に説明しなさい。</p>			<p>(3)反転授業の学習展開について具体的に指導案を作成しなさい。</p>
<p>9. 教えて考えさせる授業の展開</p>		<p>(2)多視点映像教材を使った“教えて考</p>	<p>(1)多視点映像教材の処理方法につい</p>	<p>(3)マルチアングル映像と多視点</p>	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

		えさせる授業”への展開について説明しなさい。	て順を追って説明しなさい。	映像の違いと特徴を説明しなさい。		
10. 研修の目標とその評価方法	(1)ロバート・メーガー（Robert F. Mager）の3つの質問について説明しなさい。	(2)研修目標の明確化について具体例を挙げて説明しなさい。		(3)「知識習得モデル」と「知識創造モデル」の違いと特徴を説明しなさい。	(4)変容的評価について説明しなさい。	
11. 自律的なオンライン研修の分析と設計		(2)研修の効果測定について具体例を挙げて説明しなさい				(1)自律的なオンライン研修について、具体的に企画しなさい。
12. 教育活動をデジタルアーカイブする	(2)授業分析手法について具体的に説明しなさい。	(1)授業分析に必要な教育資料の構成について具体例を挙げて説明しなさい。				(3)英国の授業分析を授業アーカイブプロジェクトの例に倣って、行ってみなさい。
13. 親子のコミュニケーションを分析する		(1)コミュニケーションの定義について具体的に説明しなさい。			(3)コミュニケーションに関する独自の調査用紙を作成しなさい。	(2)コミュニケーションを促す講座を設計しなさい。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>14. 「新たな学びの空間」の構成と学習環境</p> <p>15. 「教える」から「学ぶ」への変革</p>	<p>(2)新たな学びの空間について具体的に説明しなさい.</p>	<p>(1)放課後子どもプランの課題について具体的に説明しなさい.</p> <p>(2)社会人の学習方法の特徴について具体例を挙げて説明しなさい.</p>			<p>(3)新たな学びの空間における幼児教育コーディネータの必要性について説明しなさい.</p> <p>(1)行動主義的学習論と認知主義的学習論，構成主義的学習論に対応した課題（問題）を作成しなさい.</p>
--	-----------------------------------	---	--	--	--